

グラスウール

(1) 特長

グラスウールは溶けたガラスをふわふわした綿状の繊維にしたものです。素材そのものが不燃材で、防虫、防カビ性にも優れ、長期にわたって性能が劣化しません。

グラスウールには以下のような優れた特長があります。

- ① 不燃材料であり、火災時の安全性に優れる。
- ② 経済性に優れる。一定の断熱性能を実現するためにかかるコストが低い。
- ③ 吸音材料であり、住まいの騒音を低減できる。
- ④ 健康安全性が高い。
 - ・ IARC（国際がん研究機関）の評価でレベル3（ヒトに対して発がん性に分類されない）である。
 - ・ ホルムアルデヒド放散等級もF☆☆☆☆で、あらゆる部位や部分に使用制限なく、安心して使用できる。
- ⑤ 地球環境にやさしい。
 - ・ 主原料はガラス瓶等のリサイクルカレットである。
 - ・ 製造から廃棄までに排出するライフサイクルCO₂（LCCO₂）が少ない。
 - ・ ノンフロンである。
- ⑥ 断熱性能の経年変化がほとんどない。

(2) 主原料及び製造方法

グラスウールはガラス瓶等のリサイクルカレットや長石、ソーダ灰などのガラス原料を溶解炉で高温熔融し、遠心力によって吹き飛ばして繊維状にしたものです。

